

平成 22 年度仙台市障害者等保健福祉基礎調査概要について

1. 調査対象および回収状況

(1) アンケート調査

調 査 対 象 者	配布数	有効 回収数	有効 回収率
①身体障害者本人	1,457 名	842 名	57.8%
②知的障害者本人	691 名	364 名	52.7%
③知的障害者の家族	500 名	269 名	53.8%
④心身障害児の家族	500 名	225 名	45.0%
⑤精神障害者本人（通院）	998 名	564 名	56.5%
⑥精神障害者本人（入院）	286 名	162 名	56.6%
⑦精神障害者の家族	348 名	149 名	42.8%
⑧難病患者本人	498 名	291 名	58.4%
⑨発達障害（児）者の家族	420 名	108 名	25.7%
⑩市民	996 名	497 名	49.9%
総 合 計	6,694 名	3,471 名	51.9%

(2) 聴き取り調査

- ①身体障害者関係団体：6 団体
- ②知的障害者関係団体：7 団体
- ③精神障害者関係団体：5 団体
- ④難病患者家族関係団体：6 団体
- ⑤小児慢性疾患家族団体：6 団体
- ⑥地区・社会福祉協議会関係者：6 団体

2. 調査方法

(1) アンケート調査

郵送による調査票回収方式

(2) 聴き取り調査

関係団体・関係者と集団面接方式

3. 実施期間

(1) アンケート調査

平成 22 年 12 月

(2) 聴き取り調査

平成 23 年 2 月 3 日、4 日、10 日 (3 日間)

4. 調査内容

(1) アンケート調査

○基本的な属性	○住まいと暮らし
○所得状況	○日常生活
○就労状況	○社会参加
○健康、医療	○福祉サービス
○相談機能	○災害対策
○これからの福祉サービス	○自由記述

(2) 聴き取り調査

障害者当事者・難病患者関係団体調査項目	
○暮らし・生活基盤について	○地域社会における障害理解、社会参加について
○地域社会における施設の役割、行政との協働について	○団体の役割について
○子育てに関する不安感について (小児慢性疾患家族団体のみ)	
障害者施設関係団体調査項目	
○暮らし・生活基盤について	○地域社会における障害理解、社会参加について
○地域社会における施設の役割、行政との協働について	
社会福祉協議会や民生委員児童委員など地域で障害者の生活を支える団体等調査項目	
○暮らし・生活基盤について	○地域社会における障害理解、団体活動について
○団体の役割について	